

(別添4)

【宮城県大衡村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末の活用を通じて、児童生徒1人ひとりが自ら考え、主体的に学ぶ力を育むことを目指す。個別最適な学びと協働的な学びの両立を図り、デジタル教材や学習支援アプリの活用による個別学習の充実、オンラインツールを用いた共同学習の促進、調べ学習や発表活動を通じた探究的な学びの強化など、学習の多様なスタイルに対応できる環境を整える。

また、ICTの活用により、学習の記録や振り返りを容易にし、児童生徒が自らの成長を実感できるようにし、教職員の指導方法にも変化をもたらし、より多様な教材の活用や、1人ひとりに寄り添った指導の実現を可能にする。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想第1期において、すべての児童生徒に1人1台端末が整備され、ICT環境が大きく前進した。授業での活用が進んだことにより、学習の効率化や児童生徒の主体性の向上がみられた。一方で、端末の活用状況には、学校や学級、教科ごとに差があり、操作スキルや活用の習熟度にも個人差があった。

また、通信環境や端末管理の課題、教職員の指導スキル向上に関する支援の必要性も明らかになった。加えて、家庭学習での活用については、保護者の理解やサポートが求められる場面も多かった。

これらの成果と課題を踏まえ、第2期ではより効果的な活用を目指して具体的な取り組みを進める必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

1. 学習活動の充実

- 各教科におけるICTの活用方法を整理し、端末を活かした授業づくりを進める。個別学習や協働学習のバランスを考慮し、児童生徒が自然にICTを活用できる環境を整える。

2. 教職員の指導力向上

- 教職員がICTを効果的に活用できるよう、研修や実践的なサポートを充実させる。教職員同士の情報共有の場を設け、活用事例を蓄積・共有する仕組みを整える。

3. 環境設備と運用の最適化

- 端末やネットワーク環境の維持・管理を適切に行い、安定した運用を確保する。また、児童生徒が端末を適切に活用できるよう、リテラシー教育や持ち帰りに関するルールを明確にし、家庭での適切な端末活用を促す。

これらの取組を推進していくために、端末の整備・更新により児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。